

新「環境研究・環境技術開発の推進戦略」 構成（案）

はじめに

戦略策定の背景、問題意識

1. 環境を巡る社会の状況

世界人口・経済活動等の状況、それに伴う環境負荷の増大。グリーンイノベーション。

→環境が経済を牽引する変革期

個別領域（温暖化、循環、自然、安全）ごとの、解決の必要な課題と取組概要。

2. 我が国の環境研究・技術開発に求められること

（1）果たすべき役割

公害・オイルショックの経験等を活かした環境技術力の一層の向上と世界展開による世界の環境問題解決と我が国の活力向上。

個別の技術性能向上のみならず、技術パッケージや社会経済システムの全体最適化により、持続可能社会の総合的な実現に貢献。

（2）目指すべき中長期的な社会像

専門委員会及び各 WG での議論を踏まえて記載。

3. 重点的に取り組むべき環境研究・技術開発

（1）全領域共通の課題

（2）領域横断的課題

（3）領域ごとの課題

専門委員会及び各 WG での議論を踏まえて記載。

4. 環境研究・技術開発の効果的な推進

（1）研究・技術開発分野間の連携

（2）産学官、府省間、国と地方との連携

（3）アジア等との連携

（4）地方レベルの研究開発の強化

（5）研究・技術開発成果の施策への着実な反映

（6）国民への分かりやすい発信

（7）フォローアップ

<付録>具体的な研究課題例